■藤原乙叡 官人。母が桓武天皇に寵愛され、急速に昇進したが、天皇の死で、事件に連座して失脚、直ぐに没した。

ふじわらのおとただ

・・・・・・・・ 761= 百濟明信を母に、藤原継繩の第二子に生まれる。南家豊成の孫。

宇佐八幡神託 769= 8歳：
称徳天皇没・ 770= 9歳：

・・・・・・・・ 779=18歳：

桓武天皇即位 781=20歳：

長岡京造営始 784=23歳：正六位上から*従五位下に叙せられ、侍従に任ぜられた。

藤原種継暗殺 785=24歳：権少納言、

長岡京中断・ 786=25歳：従五位上，少納言となる。

・・・・・・・・ 787=26歳：右衛士佐，中衛少将に転じ，正五位下に叙せられ、

蝦夷征伐始・ 788=27歳：下総守を兼任。

・・・・・・・・ 789=28歳：大蔵少輔、

・・・・・・・・ 790=29歳：信濃守を兼ね，さらに兵部大輔に転じて右兵衛督を兼任、

・・・・・・・・ 791=30歳：従四位下に叙せられた。

・・・・・・・・ 792=31歳：その第に行幸あり、

平安京築造始 793=32歳：左京大夫、

平安京遷都・ 794=33歳：*参議に任ぜられた。左京大夫を兼ねる一方，この間，侍従の任も継続し、

・・・・・・・・ 795=34歳：山城守を兼ね、

・・・・・・・・ 796=35歳：伊予守，右衛士督を兼任。父が死去。ほぼ毎年ともいえる顕要の官職の歴任は，右大臣にまで昇進した父継繩との関わりによるものであり，継繩没後も，尚侍として桓武天皇の寵幸を得た母明信の存在がこのほか大きかったと思われる。

田村麻呂将軍 797=36歳：従四位上に昇叙，越前守を，続いて，中衛大将を兼任、

遣新羅使停止 799=38歳：正四位下に叙せられ，兵部卿に任ぜられた。

・・・・・・・・ 800=39歳：従三位に昇叙，山城守、

・・・・・・・・ 803=42歳：権中納言に任ぜられたが，この時の兼任は中衛大将と近江守であった。

桓武天皇没・ 806=45歳：*桓武の崩御に際しては，山陵造営の山作司，さらに大葬前の誅では右方を務めた。百官が皇太子安殿親王(のちの平城天皇)に即位を重ねて啓上した日に中納言に昇進し，兵部卿に再任されたが，得意の時代はこれで終わることとなった。

伊予親王の変 807=46歳：*甥の伊予親王事件に連座してすべての官職を解任された。平城天皇が皇太子時代に酒宴の席でうけた無礼を根に持ち，事件に関係ありとして処分されたという。

・・・・・・・・ 808=47歳：_このことが衝撃となったのか，失意のうちに没した。